

行田市地域公共交通計画策定に向けた 地域公共交通に関する意見交換会 報告書

令和 5 年 3 月

昭和株式会社

■地域公共交通に関する意見交換会の概要

1. 目的

地域の生活スタイルや移動ニーズに合った公共交通のあり方を検討するために、市民の方々の意見やアイデアを把握し、計画への反映を検討することを目的に実施。

2. 開催日時・場所

日時：令和5年2月4日(土) 午後1時30分～午後4時30分

場所：産業文化会館 2階 第2会議室

3. 参加募集

- ・市広報やSNSなどを用いて、参加者を公募
- ・地区状況(特に高齢者)をよく知る民生委員にも参加依頼

地域公共交通に関する意見交換会を開催します

本市にとって望ましい地域公共交通のあり方や維持確保を図ることを目的とした行田市地域公共交通計画を策定することに伴い、皆さんの声を計画に反映させるため、意見交換会を開催しますので、ぜひご参加ください。

▶日時 2月4日(土)午後1時30分～4時30分

▶場所 産業文化会館2階第2会議室

▶内容

・公共交通の現状と各種アンケート結果の説明

・公共交通の課題の整理や将来像などについてグループに分かれて意見交換

▶対象 市内在住・在勤・在学の16歳以上の方

▶定員 15人

▶申し込み 1月4日(木)～26日(水)に行田市電子申請システムまたは電話で交通対策課へお申し込みください。

※電話の場合、住所・氏名・年齢・電話番号を、市外の方は加えて勤務先・通学先をお申し出ください。

▶問い合わせ 同課地域公共交通グループ(内線284)

市報ぎょうだ 2023.1

4. 全体プログラム

1. 開会

2. 開催趣旨

- ・目的と本日の進め方

【Phase1】『現状を知る』＜全体＞

3. 行田市の公共交通の概要について

- ・行田市の公共交通の現状、市民アンケート調査等の結果

【Phase2】『課題を考える』＜グループワーク＞

4. 意見交換①

- ・意見交換の進め方
- ・グループに分かれて課題の共有

【Phase3】『解決方法を考え、将来につなげる』＜グループワーク＞

4. 意見交換②

- ・課題解決、将来の公共交通のあり方に関する意見交換

5. グループごとの発表

6. 閉会

5. 当日の出席状況

総参加者	内訳		
	年齢	地域	所属
12名 (3グループ)	10代:3名	北部:6名	公募:7名 民生委員:5名
	30代:1名	中央:3名	
	40代:1名	西:2名	
	60代:2名	東:1名	
	70代:5名		

■当日のグループワークの様子

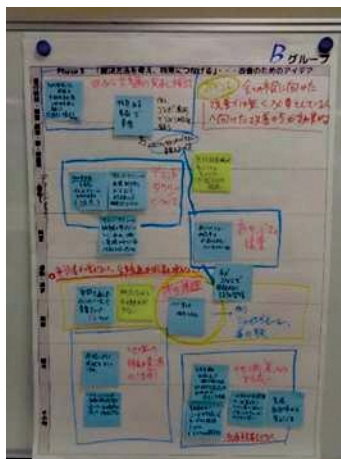
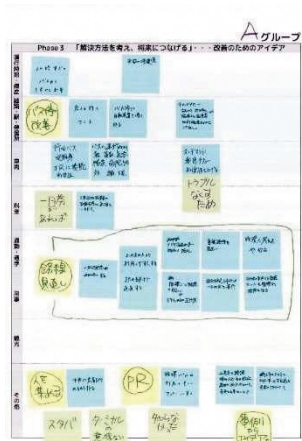
A



B



C



■各グループワークシート

行田市 地域公共交通に関する意見交換会 グループ A

Phase 2 「課題を考える」・・・公共交通の現状と問題点

運行時刻・頻度	<div>バス本数</div> <div>最終の時間が早い（休日）</div> <div>通学時間の本数（増やしてほしい）</div> <div>本数が少なく利用できない</div> <div>バスの本数が少ない</div> <div>1時間1本でも少ない</div>
経路・駅・停留所	<div>バス停</div> <div>バス停に自転車置き場が無い</div> <div>バス停の設備</div> <div>座れるところがない</div> <div><経路> 順路が右・左あり 目的地に到着するのに時間がかかる場合がある</div> <div>西循環</div> <div>目的地に到着するのに時間がかかりすぎる</div>
車両	<div>デマンドタクシー</div> <div>デマンドタクシー 乗り合いが出来ない</div> <div>デマンドタクシー 途中下車が出来ない</div>
料金	<div>駐車場に車を停めた方がバスよりも安い</div> <div>JR 利用</div> <div>市内循環バスの負担額の変動はどうして発生するのか</div> <div>路線によって料金が違うのは不公平</div> <div>市内循環バス</div>
通勤・通学	<div>秩父鉄道は時間帯によって利用者がバラバラ</div> <div>バス停まで車で来る人がいる</div>
用事	<div>循環バスの利用率が低い原因を知り減らす・やめる</div>
観光	<div>観光だけめぐるコースがあると利用が便利</div> <div>循環バス 観光はよい</div> <div>循環バス 時間がかかる</div> <div>循環バス 時間的効率を計る</div>
その他	<div>車の方が便利なので車を使ってしまう</div> <div>ターゲット</div> <div>利用する人は高齢者が多い</div> <div>工場団地行は市外からの従業員が多い</div> <div>バスが通っている路線、循環バスやめる</div> <div>循環バス 名称が良くない</div>

Phase 3 「解決方法を考え、将来につなげる」・・・改善のためのアイデア						
運行時刻・頻度	22 時すぎのバスを1本でも出す	本数の増便				
経路・駅・停留所	バス停改善	座る所をつくる	バス停に自転車置き場を作る	デマンドタクシー 市外でも行田市と隣接する病院、スーパー等は利用出来るようにしてほしい		
車両		行田バス定期券 JR に接続 利便性	バスの運行メリハリ 朝：通勤・通学 午前昼：病院・市内 夕方：退勤・下校	デマンド専用タクシー 利便性を上げる		
料金	1 日券があれば	工業団地従業員の勤務企業に負担いただく		トラブルをなくすため		
通勤・通学	路線見直し	一方向路線にする	上の方の人が利用しやすくする	ソシオ流通センター経由は除外	重複路線を見直し	循環の考え方をやめる
用事			JR の駅まで直通する	循環バス路線の見直し ⇒ポイント地区の直行便	秩父鉄道と並行している地区を変更	高齢者が利用する病院・スーパーを循環する路線を作る
観光	人を集める	中央に若者向けのものを作る	PR	循環バスの利点をもっとアピールする	事例からアイデアを	
その他	ターミナルの意味ない	スタバ	存在を知らなかった		上尾市は路線増加しても財政負担が減少したとのこと、参考に出来ないか？	鳩山町のスマホを利用した公共交通を参考に出来ないか？

行田市 地域公共交通に関する意見交換会 グループ B

Phase 2 「課題を考える」・・・公共交通の現状と問題点

運行時刻・頻度	JR等の路線とバスがうまくつながっていない	運行時間が少ない	学生さんの朝・夕の本数は？	吹上駅や行田駅などへの日中の利用度は？	バスの終わる時間が早い	デマンドタクシー方への利用時間帯を利用しやすく！	スクールバスの早朝利用の改善
経路・駅・停留所	バス停が遠い	バス停間の距離が長い				周辺部の市民は中心部へ移動しない	南大通り線は利便性が高い
車両	タクシーをもう少し小さくした方が良いと思ってる						
料金	デマンドタクシーの料金が距離なので地域によっては負担が大きい	デマンドタクシーの待ち時間が長い	デマンドタクシーの利用が多くないのは？				料金は安いと思っている
通勤・通学				デマンドタクシーを優先的に見直すべき？	公共交通の恩恵に地域差がある		
用事	行田市内で用をすますのに十分でない				北部の市民の移動が困難		
観光	通学以外で使用する理由がない	バスよりも自転車の方が自分のペースで家を出られる	デマンドタクシー利用枠を増やす(妊婦さんや70歳以上) 75才以下でも良いのでは？	市内循環バス東循環、北東循環、北西循環の廃止	ガソリン代が高くなっている		
その他	まとめ ・デマンドタクシーの利便性が悪い ・公共交通に地域差がある ・地域にあった公共交通を考える必要がある						レンタサイクルが充実している

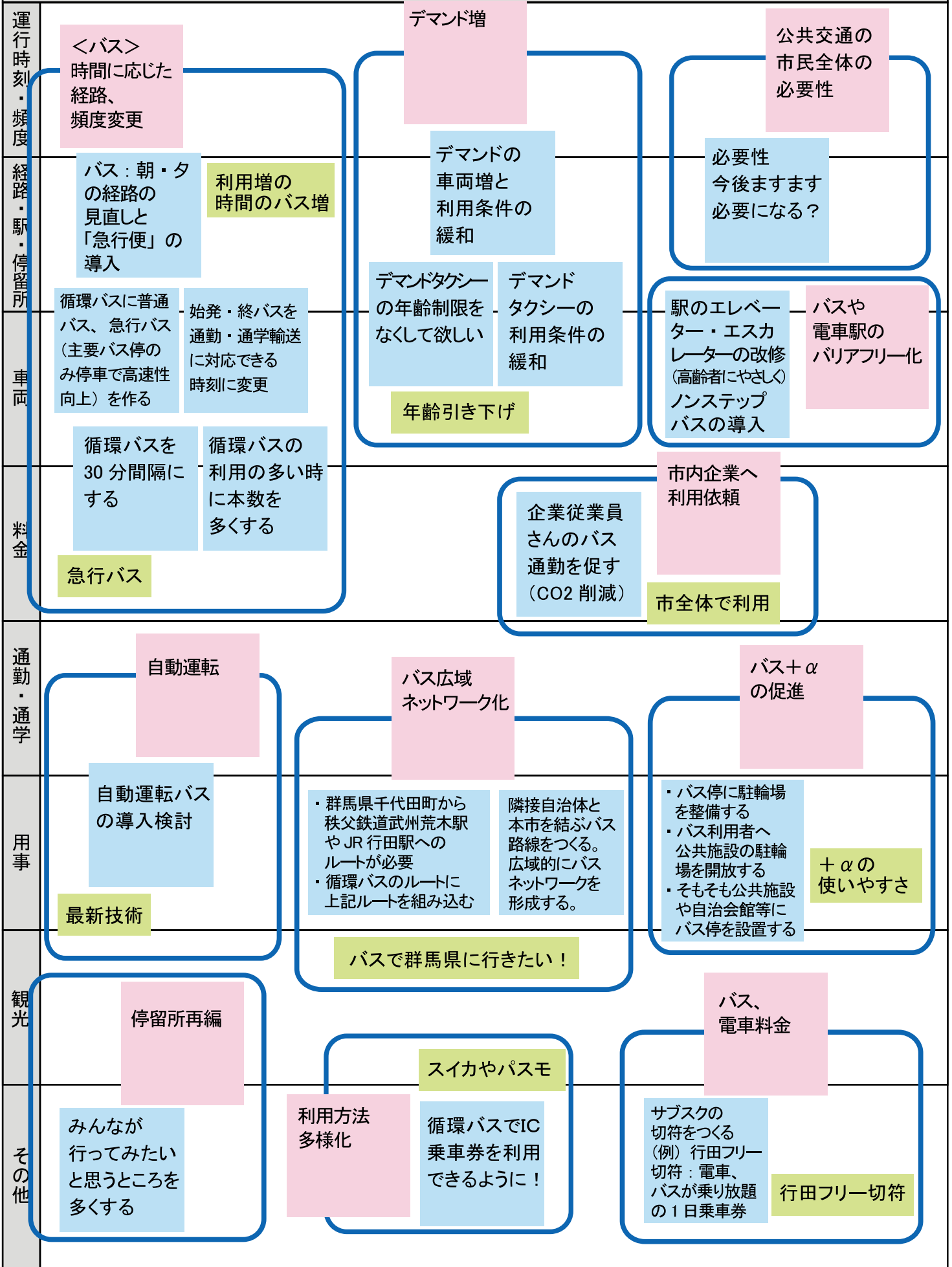
Phase 3 「解決方法を考え、将来につなげる」・・・改善のためのアイデア	
運行時刻・頻度	<p>市内循環バス路線は市財政負担額と利用実数を考慮してコース見直しや廃止を検討する</p> <p>既存公共交通の見直し検討</p> <p>特色ある車両で集客 (例) コラボ車両でSNS映えを狙う</p> <p>ポイント すべての市民に向けた改善ではなく、必要としている人へ向けた改善の方が効果的</p>
経路・駅・停留所	<p>メディアで取り上げてもらい集客を上げる</p> <p>無料駐車場が多いことを生かしたパーク＆ライドの促進</p>
乗車方法	<p>他の自治体を参考にデマンドタクシーの利用対象者を拡充</p> <p>デマンドタクシーの年齢制限を見直す (妊婦さんも利用できる)</p> <p>デマンドタクシーについて</p> <p>デマンドタクシーの距離の費用ではなく、市内一律に負担を少なくする (予算もあると思うが)</p> <p>乗る人が少ない時間帯は安く乗れるタクシーのようなものにする</p> <p>新サービスの提案</p>
料金	<p>市がSNSで積極的に情報発信</p>
通勤・通学	<p>〇来訪者が増えないと、公共交通利用者も増えない</p> <p>年間を通したイベントになって集客アップ (桜など)</p> <p>残念ながら市の魅力が少ない</p> <p>市の課題</p> <p>人が集まる場所を作る →例) ショッピングモール、道の駅</p>
用事	
観光	<p>病院へ行く送迎を別に作る</p> <p>地域の移動資源の活用</p> <p>公共交通は地域によって課題が異なるため地域での話し合いや地域内でのアンケートを実施</p> <p>地域差への対応</p> <p>北部や南部等は、必要時にワゴン車で迎えに来るシステムが出来ると良い</p> <p>先進自治体から学ぶべき</p>
その他	<p>スクールバスや医療機関等で空いている時間を使って活用する</p> <p>きめの細かいニーズの対応でサービスを提供していく (システムの検討)</p> <p>交通弱者をゼロへ</p>

行田市 地域公共交通に関する意見交換会 グループ C

Phase 2 「課題を考える」・・・公共交通の現状と問題点						
運行時刻・頻度	市内循環バス			スクールバス		
	市内循環バスは2時間に1回なので行って帰ってくるのに時間が合わないことが多い			登下校時は満員 その他は良いと思う		
経路・駅・停留所	経路			デマンド料金、年齢		
	市内循環バスの路線が行きたいところへ真っすぐ行けず時間がかかる			デマンド75才以上とは？ 利用年齢下がる？		
車両	病院に通院			料金は安い方がよいが、迎車料がかかる。何とかならないか？		
	循環バス本数が少ない			デマンドタクシーが市内だけの利用なので、隣接市にも行けるようになるとうい		
料金	運賃が1回いくら			予約		
	料金			デマンドタクシーは予約していないと来てもらえないので急なときはどうしたら		
通勤・通学	本数			公共交通、年齢		
	電車、バス、循環バス運行間隔が長い おおむね30分以内にすべき			公共交通の拡充が高齢者のみの対象としている（車を持たない貧困層や若年層も含めてほしい）		
用事	乗り換え方法			車社会		
	自転車からバスへ乗換ができない（高齢者の自転車）			1人1台の車所有がやめられない		
観光	鉄道駅の構造			公共交通必要性		
	鉄道の駅に行っても2階になっているので乗るとき大変			費用対効果はどうか？		
その他	バス、電車ステップ段差			福祉として公共交通の位置づけを抜本的に考えてみてはどうか？		
	エスカレーター、エレベーター			自動運転バスを採用してはどうか？		
				今のところ（現在67才）市内の公共交通を使う考えはない		
				Uberの発想を取り入れられないか？		
				公共交通は必要なのか？		

グループ C

Phase 3 「解決方法を考え、将来につなげる」・・・改善のためのアイデア



■意見交換会の意見まとめ

【デマンドタクシー】

項目	現状や課題	対応策
全般	○デマンドタクシーを優先的に見直すべきか？	
乗合	○乗り合いができない	
不便なところ	○途中下車ができない	
運賃	○距離制なので地域によっては運賃負担が大きい ○迎車料がかかる	○市内一律として負担を少なくする
システムの見直し	○予約が必要で、急な時に利用できない ○待ち時間が長い	
周知	○身近に利用している人がいない	
運行時間帯		○夕方以降も利用できるようにする
運行区域	○市内だけの利用となっている	○市外でも行田市と隣接する病院やスーパー等へ行けるようにする
車両	○もう少し小さい車両がよい	○専用タクシー車両で運行する(利便性を上げる、トラブルをなくす) ○車両を増やす
利用条件		○利用条件を広げる →妊婦さん →年齢引き下げで70歳以上など ○利用条件検討の際は他の自治体を参考にする

【鉄道】

項目	現状や課題	対応策
利用状況	○秩父鉄道は時間帯によって利用者数がバラバラである	

【バス全般】

項目	現状や課題	対応策
運賃	○駐車場に車を停めた方がバスよりも安い(JR 利用の場合)	
バス停	○バス停に自転車置き場がない ○自転車からバスへ乗り換えできない	○バス停に駐輪場を整備する ○バス利用者に公共施設の駐輪場を開放する
	○バス停の設備が足りない(座れるところなど)	○バス停に座るところをつくる
	○バス停が遠い ○バス停間の距離が長い	

【市内循環バス】

項目	現状や課題	対応策
時間がかかる →路線の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○順路が左右あり、目的地に到着するのに時間がかかる場合がある ○目的地到着に時間がかかる ○路線が行きたいところへ真っすぐ行けず時間がかかる ○バスターミナルで乗換すると時間のロスがある ○運行の終わる時間が早い 	<ul style="list-style-type: none"> ○循環運転でなくてよい ○直行便がよい ○急行便を導入する ○路線バスを含め、路線が重複するルートを見直す ○秩父鉄道と並行する区間を見直す →ソシオ流通センター経由は不要 ○時間帯によって経路を変える →朝夕：通勤・通学、日中：病院など用事 ○高齢者が利用する病院やスーパーを循環する路線をつくる ○病院へ行く送迎路線を別につくる
路線の見直しの進め方		<ul style="list-style-type: none"> ○財政負担と利用数を考慮し、コース見直しや便数変更、廃止など検討する ○東循環・北東循環・北西循環は廃止でよい
広域ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通で結ばれていない隣接自治体がある ○市内循環バスが市内で完結している 	<ul style="list-style-type: none"> ○隣接自治体と本市を結ぶバス路線をつくる →群馬県千代田町から秩父鉄道武州荒木駅や JR 行田駅へのルート
適切な頻度	<ul style="list-style-type: none"> ○南大通り線は利便性が高い ○2時間に1回なので往復では時間の合わないことが多い ○本数が少ない路線は不便である 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用の多い時間帯の本数を増やす ○30 分間隔にする ○通勤・通学で利用できる時間帯に運行する
鉄道との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道とバスがうまくつながっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○JR 接続の利便性を高める ○市内北部住民の利便性向上 →JR 駅まで直通
キャッシュレス バス停新設		<ul style="list-style-type: none"> ○IC乗車券を利用できるようにする ○みんなが行きたい場所などへバス停を増やす ○公共施設や自治会館等にバス停を設置する
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ○路線によって料金が違うのは不公平である 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期券をつくる ○1 日券があればよい
車両		<ul style="list-style-type: none"> ○特色ある車両で集客する →コラボ車両で SNS 映えを狙い、メディアで取り上げてもらう
観光利用	<ul style="list-style-type: none"> ○市内循環バスで観光するのはよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光だけ巡るコースがあると便利になる
PR	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで市内循環バスのことを知らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内循環バスの利点をもっとアピールする
パークアンドライド	<ul style="list-style-type: none"> ○無料駐車場が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場を活かしてパーク＆ライドを促進する

【路線バス】

項目	現状や課題	対応策
運行時間帯(熊谷－犬塚)	○最終時間が早い(休日)	○22 時すぎのバスを1本でも出す
頻度(熊谷－犬塚)	○通学時間の本数を増やしてほしい ○本数が少なく利用できない ○バスの本数が少ない(1 時間 1 本でも少ない)	○増便する
利用状況	○バス停まで車で来る人がいる	

【小学校のスクールバス】

項目	現状や課題	対応策
利用状況	○登下校時は満員となっているが、その他は良い	○スクールバスの早朝利用の改善を図る

【公共交通全般】

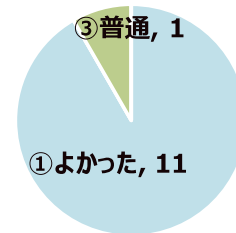
項目	現状や課題	対応策
車利用	○車の方が便利なので車を使ってしまふ ○1 人 1 台の車所有がやめられない ○通学以外で公共交通を使用する理由がない ○今のところ市内の公共交通を使う考えはない ○ガソリン代が高くなっている	○すべての市民に向けた改善ではなく、必要としている方へ向けた改善の方が効果的である
運転間隔	○電車、バス、循環バスの運行間隔が長い	○おおむね 30 分以内にする
新たな取組		○自動運転バスの導入を検討する(最新技術) ○Uber の発想を取り入れる(ライドシェア) ○きめの細かいニーズに対応してサービスを提供する(システム検討) ○乗る人が少ない時間帯は安くタクシーに乗れるようなものを考える ○スクールバスや医療機関等で空いている時間の車両を活用する
ターゲット	○公共交通を利用する人は高齢者が多い ○公共交通の拡充が高齢者のみに偏っている ○工場団地行は市外からの従業員が多い	○車を持たない貧困層や若年層も対象にする ○工業団地従業員の勤務企業に費用を負担いただく ○企業従業員さんのバス通勤を促す(CO2 削減)
自転車との競合	○バスよりも自転車の方が自分のペースで家を出られる ○レンタサイクルが充実している	

項目	現状や課題	対応策
バリアフリー	○鉄道駅が2階なので大変である	○駅のエレベーターやエスカレーターを改修する ○ノンステップバスを導入する
地域差	○公共交通の恩恵に地域差がある ○北部の市民は公共交通での移動が困難である ○周辺部の市民は行田市の中心部へ移動しない(近隣の熊谷市や鴻巣市などへ出かける)	○公共交通は地域によって課題が異なるため、地域での話し合いや地域内でのアンケートを実施する ○北部や南部等は、必要時にワゴン車で迎えに来るシステムができるとうい
事例に基づく改善		○事例を参考に改善を図る →上尾市の「路線が増加しても財政負担が減少した」事例 →鳩山町の「スマホを利用した公共交通」 ○先進自治体から学ぶべき
人を集める	○来訪者が増えないと、公共交通利用者も増えない ○忍城バスターミナル周辺の魅力がない ○残念ながら市の魅力が少ない	○市中心に若者向けのものをつくる →スタバ ○人が集まれる場所をつくる →(例)ショッピングモール、道の駅 ○年間を通したイベントによる集客アップを図る(桜など)
公共交通のあり方	○費用対効果はどうか？	○交通弱者をゼロにする ○福祉として公共交通の位置づけを抜本的に考えてみてはどうか？
運賃割引		○サブスクの切符をつくる →(例)行田フリー切符:電車、バスが乗り放題の1日乗車券

■意見交換会の会場アンケートの結果

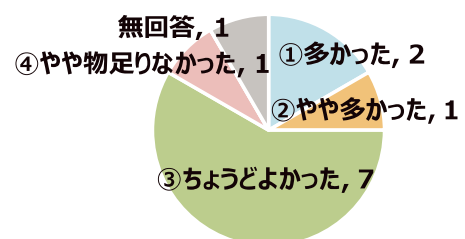
○問1 本日の意見交換会の進め方はどうでしたか。

	回答数	割合
①よかった	11	91.7%
②ややよかった	0	0.0%
③普通	1	8.3%
④あまりよくなかった	0	0.0%
⑤よくなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



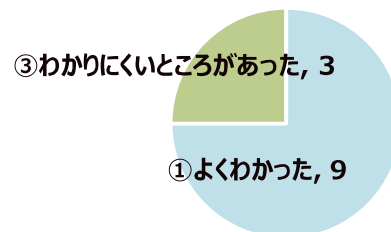
○問2 本日の作業全体のボリュームはどうでしたか。

	回答数	割合
①多かった	2	16.7%
②やや多かった	1	8.3%
③ちょうどよかった	7	58.3%
④やや物足りなかった	1	8.3%
⑤物足りなかった	0	0.0%
無回答	1	8.3%
計	12	100.0%



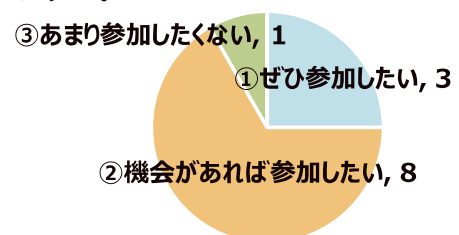
○問3 作業の説明などは、わかりやすかったですか。

	回答数	割合
①よくわかった	9	75.0%
②だいたいわかった	0	0.0%
③わかりにくいところがあった	3	25.0%
④わかりにくかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



○問4 今後、こうした意見交換会に参加してみたいと思いますか。

	回答数	割合
①ぜひ参加したい	3	25.0%
②機会があれば参加したい	8	66.7%
③あまり参加したくない	1	8.3%
④参加したくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



○問5 本日の内容や運営に関するご意見を自由にお書きください。

- ・ 行田の街を良くしようと努力しているのが伝わりました。進み方もわかりやすかったです。
- ・ スムーズに話し合えて色々な年代の意見が聞けて勉強になりました。
- ・ 幅広い年齢層の意見が聞けてよかったです。
- ・ この様な形式ははじめての参加でしたので、この地に生まれ育った所を外から見ることなく、良さも悪いところが見えないなどで多くを語れなかったかな？
- ・ 公共交通を利用させるなら、外から人を呼ぶことを最初に考えた方が良いと感じました。利用者を外部から増やし、お金を落としてくれる所が増えたら、余ったお金を利用不便な所に回していけばいいと思いました。
- ・ 公共交通について専門家の意見を聞きたいです。また、他の自治体との連携できれば・・・(公共交通の問題は単一自治体では解決が難しいから)
- ・ 課題に対してはアイデアが多く出ていたので良かったです。年代の違う方の意見が聞くことができて良かったです。
- ・ 本日資料でバス、タクシーの実績表が参考になりました。先進自治体を研修し、行田の実績を先進の見習った時の差を検討してみたいです。
- ・ いろいろな立場の人の意見が聞けて、見方がいろいろあるのだと思いました。
- ・ ワークショップで出た(市民の)アイデアを今後に活かして下さい。

○問6 その他、公共交通に関するご意見を事由にお書きください。

- ・ 循環バスをもっと利便性のあるものにしたいです。
- ・ バスについて意見が多かったと思うので、本数など改善お願いしたいです。
- ・ オンデマンド専用タクシーの実現を希望します。
- ・ もうまったなしの状態と思います。早急に見直しを！
- ・ 車を手離す時にならないと……。一度東、西、南、北バスに乗ってみようと思います。
- ・ すぐに必要な問題もあるので、ぜひ活かして頂ければと思います。
- ・ 一言でいえば、利用したくとも利用できません。不便さがネックになっています。利用者(必要者)に対応する改善が必要です。
- ・ 公共交通を使うより車で移動することが多いですが、乗ってみたいと思うようになったらいいな。
- ・ 今すぐできることはスピード感を持って実施して下さい。また、将来的な(自動運転バス、オンデマンド乗り合いタクシー、Uber システムの導入)公共交通のあり方を検討してほしいです。